

## 介護保険関連法の改正案が参院で可決

介護保険関連法の改正案が5月26日、参議院本会議で賛成多数により可決されました。一定の所得がある高齢者の自己負担を2割から3割に引き上げることや、高齢者、障害者、児童らがともに利用できる「共生型サービス」の新設などが盛り込まれています。

政府は自己負担を引き上げる狙いを、厳しい財政のもとで制度の持続性を確保するためと説明、単身で年収が340万円以上ある高齢者などが対象となり、受給者全体の3%程度にあたる約12万人が該当します。

## 「創刊特集」 — 訪問入浴介護のはじまり —

デベロが移動入浴車の開発に着手したのは、昭和46年のことでした。それは当時、水戸市長であった木村傳兵衛氏からデベロ創業社長である立井宗久への一本の電話がきっかけでした。その内容は「ある市民の寝たきり老人から、『お風呂に入りさっぱりしたい』『何とか入れてほしい』と切なる願いを聞いている。しかし、今ある風呂では入れてあげられない。何とか望みをかなえてあげたいが何か良いアイデアはないだろうか」というものでした。この電話の後、期間1年あまりを経て自宅入浴方式巡回移動入浴車の開発にいたり、昭和47年6月、ついに茨城県水戸市に納入されました。



当時の入浴介助風景



移動入浴車 第1号

このシステムは、車両に特殊浴槽を積載し訪問、利用者の枕元に設置した浴槽に車の中で沸かしたお湯をホースで供給し、入浴を楽しんでもらうというものです。この移動入浴車を水戸市が全国に先駆けて導入し、枕元で入浴を実施する訪問入浴サービスを実施したことはあまり知られていない事実です。

引用:「訪問入浴介護の理論と実践」一橋出版

## 第53回全国入浴福祉研修会 ～開催報告～

デベロ老人福祉研究所が主催する第53回全国入浴福祉研修会を3月17日に東京都中央区フェニックスプラザにて開催しました。



第53回全国入浴福祉研修会風景

基調講演では、公益財団法人日本訪問看護財団の佐藤美穂子常務理事にご登壇いただきました。訪問看護と訪問入浴介護の連携に関して、訪問看護の立場から、チームアプローチの在り方に触れ、各サービスの必要性・活用目的を理解し、それぞれの強みや専門性を尊重し合い、重なり合ってチーム力を発揮することが重要とのことです。

行政説明では、厚生労働省老健局振興課より林英典係長にご登壇いただき、次期制度改正の動向や、地域包括ケアシステムの強化のための介護保険等の改正案のポイントなどご説明いただきました。

### 同日開催: 平成28年度老人保健健康増進等事業 「在宅の重度要介護者の入浴支援のあり方に関する調査・研究事業」報告会

第2部では、デベロ老人福祉研究所が実施しました、「在宅の重度要介護者の入浴支援のあり方に関する調査・研究事業」報告会を行いました。

今回の調査・研究事業では、訪問入浴以外での「在宅での入浴支援」に着目、特に重度の要介護者の利用が見込まれる看護小規模多機能型居宅介護においての入浴支援の状況等について調査を実施いたしました。住み慣れた場所で、たとえ重度であったとしても安心して入浴が提供されることを目的として取組ました。報告書はデベロホームページでご覧いただけますので、アクセスお待ちしております。

デベロホームページ: <http://www.develo-group.co.jp>



お風呂にまつわるちょっとした小話  
「お風呂古今東西」は  
お風呂infoにて連載中。 <http://o-fu-ro.info/>

風呂敷の由来をご存じですか？

室町時代の大名が、入浴する時に他の大名の衣服と間違えないようにするため、家紋を染め抜いた布で衣服を包み、湯上がりにはその布の上に座って身繕いをしていたそうです。



創刊のご挨拶

清々しい五月晴れが快い季節となりましたが、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶びいたします。この度デベロ老人福祉研究所では、「入浴」の喜びや感動をたくさんの方々にお伝えいただくための一助となればということから、「入浴福祉新聞NJ(エヌジェイ)」を創刊することといたしました。本誌は「お風呂info」ホームページ(<http://o-fu-ro.info/>)よりダウンロード、プリントアウトができます。入浴福祉の普及啓発にご活用いただければ幸いです。

人がいかなる環境や状況におかれても、「入浴」によって得られる幸せをいつまでも味わえるようにと私どもは日々考えております。そのような中、[NJ(エヌジェイ)]、つまり入浴福祉の広い普及とともに我が国が、新たな豊かな日本=NEO JAPAN(ネオジャパン)となっていくようにとの願いから本誌を命名いたしました。

ぜひご一読いただき、ご要望やご意見をお聞かせいただければ幸いです。

入浴福祉新聞NJ 発行人 梅澤 秀樹

その際に使用していた布が後の「風呂敷」の由来となったようです。現代では、おしゃれに風呂敷を使う女性も増えています。お出掛けに風呂敷を小脇にかかえて...なんてちょっと粋ですね。



訪問入浴介護のお申込み・お問い合わせは